

Old Time ~ 昔よく飲んだスコッチ

シングルモルト・ウイスキーが一般的ではなかった頃。
輸入される洋酒が高級品だった頃。
海外旅行したとき免税品のお土産の定番だった高級ウイスキーたち。
今、もう一度 飲みなおしてみませんか？



かつての憧れ「ロイヤルサルート 21年」 1杯 + 7種のウイスキー
会費: 3000円 (おつまみ付き・飲み方は自由)

4月12日(木)、13日(金)、19日(木)、20(金) 他の日も応相談
17:00 - 20:00 19日・20日は要事前連絡 於: Café & Bar 朝堂院



ロイヤルサルート 21年

1953年に現英国女王エリザベス2世の戴冠式を記念してつくられた最高級のスコッチウイスキーです。
21年であるのは戴冠式の祝砲の回数に由来します。蒸留所はスペインサイドにあります。ストレートで深みのある心地よい味わいが長い余韻とともに味わえます。



オールドパー 12年

岩倉具視が持ち帰り、日本で最初に紹介されたといわれるウイスキー。伝説的長寿(152歳、国王10代)の英国人の名前に由来する。蒸留所はハイランド。豊かな香りと味わいはどんな飲み方でも楽しめます。



ディンプル Golden Selection

1720年に世界で最初の商業的生産を行う蒸留所がヘイグによって開設され、その後、スコットランド最大の蒸留所となりました。1890年に窪んだ形状(ディンプル)のボトルが導入され、商標登録されました。味わいはさっぱりと爽やかです。



シーバスリーガル MIZUNARA

1808年に創業者のシーバス兄弟が高級食品店をスコットランドで開業したのが発祥。1900年代初頭、アメリカへの輸出を通してブランドを確立。「ミズナラ」は日本限定発売の、日本原産ミズナラ樽で追加熟成したものの、ウッディーさが引き立つ。熟した果実味もあり、ストレートで美味しい。



ブラック&ホワイト
英国議会の下院のバーで提供されていたそうです。1980年代に犬の商標ができました。どんな飲み方にも合います。伝統があるだけにしっかりしています。スコッチの普及に寄与しました。



ホワイトホース
1881年の創業。反英反乱の首謀者が会合した「白馬亭」という旅籠の名前に由来し、スコットランドの独立の象徴とも。アイラモルトのスモーキーで渋みもある。ソーダ割でどうぞ。



ベルズ
1851年にベル氏が創設し、息子らによって大きくなる。70年代に、「割材」と混ぜることを提唱し、売上を飛躍的に伸ばす。加水すると丸みが増し、割材との相性が良い。



**カティーサーク
北斎浮世絵版**
1923年に開発され、飲みやすさから世界にスコッチブームを広げました。ソーダ割がやさしい味に仕上がります。